

終刊によせて



広報委員長 伊 橋 佳 辰

昭和二十九年五月三日、日吉村、南条村、東陽村、白浜村の四ヶ村の合併により誕生してスタートした光町は、五十有二年の歴史を刻んで、今月二十六日に幕を閉じることになりました。

合併当初は、戦後の経済低迷期がまだ尾を引いて、町も二か年続けて財政赤字決算を余儀なくされました。しかし、日本人の勤労意欲は、世界でも奇跡といわれるような急速な経済復興を遂げ、わが町も歴代町長や議員の皆さんをはじめ、町民の皆様のたゆまぬ努力と創意工夫に富んだしつかりとした先見性で、現在のすばらしい光町が形成されました。

こうした光町の歩みをしつかり見つめ情報提供してきた「広報ひかり」は、昭和三十二年一月一日に、町行政の内容、施策を町民にどう伝えていくか、又町民が行政内容や施策を知り、どう支持や協力していけば良いか、という重要な役割をもって、創刊号が発刊されました。

以来今日まで、町民の皆さんに読んでいただけたことを第一に、紙面も色々変わりました。タブロイド版からスタートし、B5サイズ、A4サイズへと移

り変わり、読みやすくするため写真もたくさん使用して、多くの町民の皆さんに登場していただきました。更に、広報通信員制度を設けて、地域の情報や祭りなど詳しく提供するとともに、文字・色も二色刷りから、現在では、表紙・裏面がオールカラーとなり、目先も市販の雑誌に劣らぬようになりました。表現もわかりやすく専門用語もなるべく使用しないようにして、行政と町民とのパイプ役を果たしてきた「広報ひかり」も今号で最終号となります。

四七二回という長期にわたってご愛読いただき、誠にありがとうございます。続いて発刊される新町の「広報よこしばひかり」にも、ご愛読のほどお願い申し上げます。終刊のご挨拶といたします。